

北小米(マイ)ライフ!!

～5年生稲作体験学習～

大石田北小の5年生が農協青年部の協力で、春の田植えから秋の稲刈りまで、`米作り、を実体験。とれたお米(はえぬき)を、みんなで味わいながら収穫の喜びをかみしめました。



やったー!! ハイポーズ

田植えのやり方では、田植え定規を使ってマスをつけるということを知りました。田んぼのどろに足をとられそうになったけど、楽しいなと思いました。

稲刈りでは、最初は刈るのがおもしろかったけど、なれるとどんどん楽しくなりました。一発で刈れるとザクツクといって気持ちよかったです。

五年 矢作 葵くん



足をとられるけど楽しい♪

わたしは、教えていただいたて分かったことが二つあります。

一つ目は、食べ物をそまっしなということ。稲刈りの時などに、稲を落としたりひろって、そまっししないことを教わりました。

二つ目は、お米を作るとは大変だということ。何か月もかけて作るの大変でした。これからは、食べ物を食べるときは、もっと感謝して食べたいと思います。

五年 丹野 琉那さん



自分たちが作った「はえぬき」は、とってもおいしい!!

今日は、楽しみに待っていた収穫祭でした。私達は畑で収穫した枝豆を使ってサラダを作りました。そして、農協青年部の方といっしょに作った「はえぬき」をたいて味わいました。とてもおいしかったです。

会食では、楽しくお話しができました。他に神楽と大黒舞で、おもてなしができました。とても楽しい収穫祭になってよかったです。

五年 柴崎 彩さん



楽しみにしていた収穫祭



地域農業者の代表として 自信と誇りを胸に!

会長 芳賀 芳一

輝かしい新年を迎え謹んでお慶び申し上げます。六十年ぶりの大改革となった「農業委員会等に関する法律」の改正法が平成二十八年四月一日に施行されておりますが、当町では本年七月の改選期からその適用を受け、新農業委員十四名が町長の任命により新たな体制でスタートします。

耕作放棄地の増加や農業従事者の高齢化等、厳しい農業の生産現場の課題解決に向けて、農業委員、農地利用最適化推進委員と農地利用改善組合との話し合いのもと、担い手への農地利用集積(集積率八割)を目標に取り組み、耕作放棄地の発生防止、解消、農地の集約化に努めます。

今日の大きな情勢変化(行政による平成三十年産以降の米の生産目標数量配分の廃止と需給調整のしくみの変更)を踏まえ、地域の農業者の代表として自信と誇りを持って、大石田町の農業、農村の健全な発展に寄与するために、町行政や農協と連絡を密にして情報を発信していきます。

併せて優良農地の維持確保についても努めて参ります。本年もよろしくお願ひ申し上げます。



大石田北小 稲刈り



大石田北小 田植え

農業委員紹介

委員退任のお知らせ

土地改良区推薦委員であった長瀬義吉さんが、推薦団体である村山北部土地改良区の役員改選に伴い、9月30日をもって退任されましたのでお知らせいたします。



亀井田①



大石田地区



亀井田②



横山地区



田沢地区